

「公益社団法人日本介護福祉士会

創立 30 周年に寄せて」

公益社団法人全国老人福祉施設協議会 会長

大山 知子



1994 年に「介護関連で初の職能団体」として創立された日本介護福祉士会がこのたび創立 30 周年を迎えられたことを、心よりお慶び申し上げます。

1994 年は新ゴールドプランが策定され、高齢化率が 14%を超え「高齢社会」と称され介護の需要が高まっている時代でございました。その時代に、全国の介護福祉士が心を一つにして集結し、貴会が設立されたことには大きな意義があったと感じます。

設立翌年の 1995 年には「阪神淡路大震災」、2000 年には介護保険制度が創設され、高齢化が加速する中、多様な介護ニーズに呼応し、介護福祉士は、専門化・高度化してきました。

さらに、2011 年には「東日本大震災」、2020 年には「新型コロナウイルスの流行」、また昨今の「物価高騰」など様々な社会情勢が介護業界を震撼させてきました。

さて 2024 年の高齢化率は 29.4%、この 30 年の間に 15%以上も高齢化が進行し、「超高齢社会」と称されるようになりました。2040 年問題といわれるように今後高齢者人口はさらに増加する一方、介護サービスの需要はさらに高まり、介護福祉士に求められる役割もこれまで以上に増大し、日本の将来を担う職務として期待も高まっております。

最後になりましたが、日本介護福祉士会が今後益々のご発展と介護福祉士の皆様のより一層のご活躍を心より祈念いたします。

このたびは創立 30 周年誠におめでとうございます。